



平成24年の発足時から会長を務める「きつつきの会」の集会所前で。齋藤さんは昭和52年から3期12年間村議会議員を務めました。

もうすぐ大火山の山ツツジが咲く。その見事な景色を多くの人に楽しんでもらいたいと、村議会の議員OB会として整備を始めたのは、平成16年のことだ。太い雑木を倒したり、下草を刈ったり、もう14年間続いている。震災の年でさえ休まなかった。その時は被ばく対策を取り、短時間の作業だったが、「ここまでやってきて、あと少しなのに」という気持ちで休まなかった。今は年々観に来る人も増えていて、ずっと大事にしてもらいたいと願っている。今後は村も関わり、さらに整備が進む計画だ。

今年5月14日に、「大火山ツツジ自然公園 散策ツアー」を開催

も、帰りがたがっている。全体的にね、半信半疑なんだと思う。たとえば福島に家を建てて、仕事に通って、それでも自分の家には行ってみたくなく思う。そんな時に、草のびて我が家も見えない状況だったら、がっかりするでしょう。そういうことを避けるには、村も本気でやらないと。地域づくりをしていこうという人たちにも、がんばってほしい。無理にはない。自然に帰って来られる環境をつくっていったら最高だ。復興には、環境づくりが大切だと思

もうすぐ大火山の山ツツジが咲く。その見事な景色を見てもらう。「こういう村なんだ」と思い出してほしい。忘れてほしくない。もつとと言うと、帰って来てほしい気持ちだ。本音はね。でもね、いいんだ。きれいな所を覚えていてくれたら、それで。外に家を作ってもいい。

※散策ツアーについてはきつつきの会 ☎024(566)3370

今は川俣町に住んでいるが、建て替えている村内の家が完成したら、俺は帰村する。若い人たちは判断がつかないということだから、まずは家内と母親と、3人で住むよ。村以外に住むことは考えられないもの、俺は。92歳になる母親

※「バンカリ」は、沢や川の水力を利用して精米や製粉を行う設備

も、帰りがたがっている。全体的にね、半信半疑なんだと思う。たとえば福島に家を建てて、仕事に通って、それでも自分の家には行ってみたくなく思う。そんな時に、草のびて我が家も見えない状況だったら、がっかりするでしょう。そういうことを避けるには、村も本気でやらないと。地域づくりをしていこうという人たちにも、がんばってほしい。無理にはない。自然に帰って来られる環境をつくっていったら最高だ。復興には、環境づくりが大切だと思

平成24年に、借り上げ住宅の自治会「きつつきの会」を、川俣地区で立ち上げた。仲間と酒を飲んで「何とかしないと」と始まった話だった。しかし、誰がどこにいるかも分からない状況で、はじめは大変だった。人から人に広まり、役場の協力も得ながら、自治会の規模はどんどん大きくなった。今では117世帯で、300人を越える会員数だよ。なぜ「きつつきの会」と名付けたかって？前田に「森のきつつきバンカリ」ってあるだろう。バンカリのあのカタンカタンという音が昔から好きだからさ。

## 心も自分も大切に。

村民の皆さんからの相談に、堀先生がお答えします



精神科医 堀有伸先生  
ほりメンタルクリニック院長

## おしえてくんちえ 堀先生

相談 自分一人で悩み過ぎて、悪いことばかり考えてしまいます。

堀先生 心の深いところまで打ち明けて話すことのできる友人を、意識的につくるようにしましょう。たくさんはいりません。一人でも、本音を伝えて聞いてくれる友人は、本当に大切です。人は、自分の心を自分で知ることは難しいのです。まじめな人の場合には、一人で考えると、自分に厳しくなり過ぎて、自分の足りないところを責めたり反省したりする考えばかりが強まって、自信がなくなってきてしまうこともあります。あるいは、周りの人から軽んじられているように思ってしまうかもしれません。悪い想像が強まり過ぎないためにも、誰かと話すことはとても大切です。

「心の健康相談」お問い合わせは 健康福祉課健康係 (いちばん館内) ☎0244-42-1638まで



## 読者の涙は「心のシェア」

平成29年3月31日、これまた村にとって忘れられない日になりました。6年間の避難生活の末、長泥を除いてという残念さがありますが、ようやく避難指示が解除になった日だからです。これまでは日中は自由に入出入りして良いが、泊まってはダメという「しきり」から全く自由に泊って良いという形になりました。長かっただけに、とてもうれしい限りですが、その一方で忘れてはならないのが、全国の多くの方々の応援・支援のことです。それらがあつたからがんばれたということもあるでしょう。

ということで、村では3月31日の全国紙と福島民報・民友新聞に感謝の広告を出しました。「ただいまふるさと」の題をつけて、「多くの方々へ感謝します。感謝を力にします。これからもよろしくです」と。

そしてもう1つの広告には、「種を蒔きます。6年間、大事に握りしめていた種を 力を合わせて種をまきます」と。

その広告を見られた郡山の85才の方の感想が新聞に載りました。

31日の新聞1ページを使つての、までの村のの広告を見ました。一読者一県民としてその気持ち強く感じられ、ついつい涙してしまいました。「がんばって」とは言いません。遠くから大きな拍手を贈ります・・・と。

そして、村長さんの言葉のラストに「訪ねて行ってみたい村へ・・・」とありますが、20年前行った思い出の村にもう一度行ってみたいになりました。今月中に行きたいと思

います。と書いてありました。嬉しいですね。感謝感激です。ね。こちらの方が涙が出てきますね。「心のシェア」がまたひとつ生まれました。村民みんなこの方の「拍手」に込えていきましようや。

平成29年4月17日 飯館村長 菅野 典雄

## 誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
遠藤 誠也くん	達哉・梢	大久保・外内
花井 慎乃丞くん	準一郎・由貴	伊丹沢
細 杉 勝 杜くん	勝政・早希	前田

すくすくと元気に育ってね

## 結婚おめでとう

氏名	出身地
氏家 拓	川俣町
佐藤 絵里	飯樋町

いつまでもお幸せに

### ひとのうごき

(平成29年3月31日現在)

人口	今月 (前月比)	3月1日~31日までの
◆◆◆人口動態◆◆◆		
人口	今月 (前月比)	転入 2人
♂ 男	2978人 (-30)	転出 69人
♀ 女	3035人 (-46)	出生 3人
計	6013人 (-76)	死亡 12人
世帯数	1797戸 (-25)	(住民基本台帳人口)

## おくやみ

氏名	年齢	行政区
佐藤 カツ子	66	二枚橋・須萱
高橋 一夫	83	小宮
佐々木 了	75	草野
菅野 ユキノ	78	上飯樋
川村 榮	81	草野
郡 光雄	89	大倉
早川 キチノ	97	飯樋町
佐藤 里子	84	蕨平
志田 傳	88	上飯樋
木幡 五郎	92	伊丹沢
佐藤 一	83	宮内
高倉 ナミ子	96	関沢
高橋 ミツ子	91	関沢
村松 ハヤ子	87	小宮
嘉藤 トキ	95	白石
藤田 キヨノ	98	伊丹沢

ご冥福をお祈り申し上げます  
(3月21日から4月17日までに届け出のあったものを掲載)  
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。